

2024年度 第3四半期 決算説明資料

2025年2月12日

リンナイ株式会社

Rinnai

免責事項

本資料に含まれる見通し、予想、戦略その他将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまなリスクおよび不確定な要素により当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としていません。

2024年度 第3四半期実績(累計)

2024年度 第3四半期(累計)連結決算要点

■ 各国間で濃淡はあるものの、上期の好調を継続し、過去最高を更新

売上高 : **3,323.1億円** (前期比: +7.1%)

物価上昇により消費は停滞するものの、事業環境の正常化は継続 過去最高売上

過去最高

営業利益 : **350.5億円** (前期比: +37.6% 利益率: 10.5%)

原材料・エネルギーコストが高まるなか、原価低減活動の効果などで、過去最高

過去最高

経常利益 : **388.4億円** (前期比: +27.5% 利益率: 11.7%)

受取利息・為替差益を計上

過去最高

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : **228.7億円** (前期比: +31.7% 利益率: 6.9%)

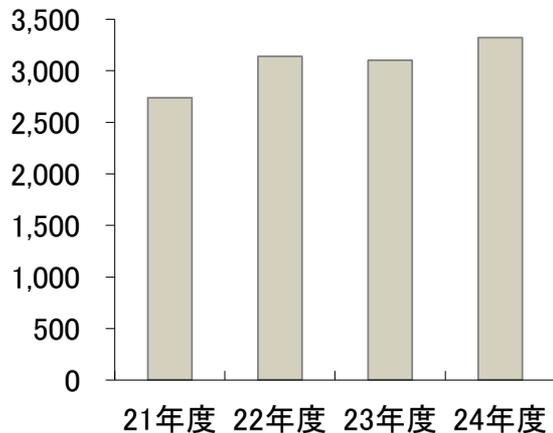
過去最高

連結業績推移(第3四半期(累計))

- 各国の消費動向は低調ながらも、高付加価値商品の伸長と為替換算影響で、過去最高売上
- 事業環境の正常化に伴い、従来の利益率水準に回復

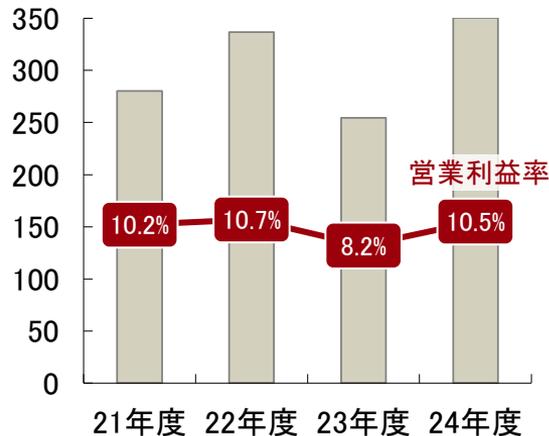
売上高

(単位: 億円)



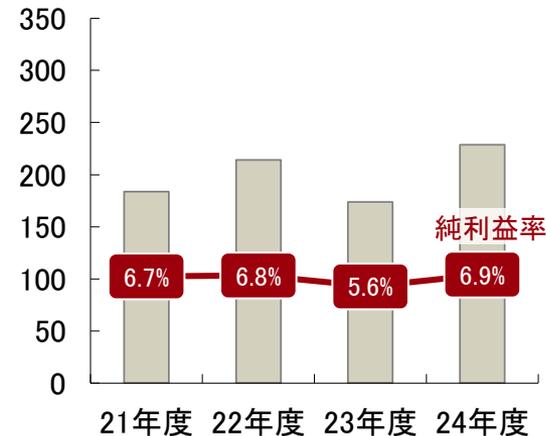
営業利益

(単位: 億円)



親会社株主に帰属する 四半期純利益

(億円: 億円)



2024年度 第3四半期(累計) 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

機器別	2023年度		2024年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	1851.1	59.7%	1965.0	59.1%	+113.8	+6.2%
厨房	685.3	22.1%	728.3	21.9%	+43.0	+6.3%
空調	166.9	5.4%	165.8	5.0%	△1.1	△0.7%
業用	82.3	2.7%	86.3	2.6%	+3.9	+4.8%
その他	315.7	10.2%	377.6	11.4%	+61.9	+19.6%
合計	3101.6	100.0%	3323.1	100.0%	+221.5	+7.1%

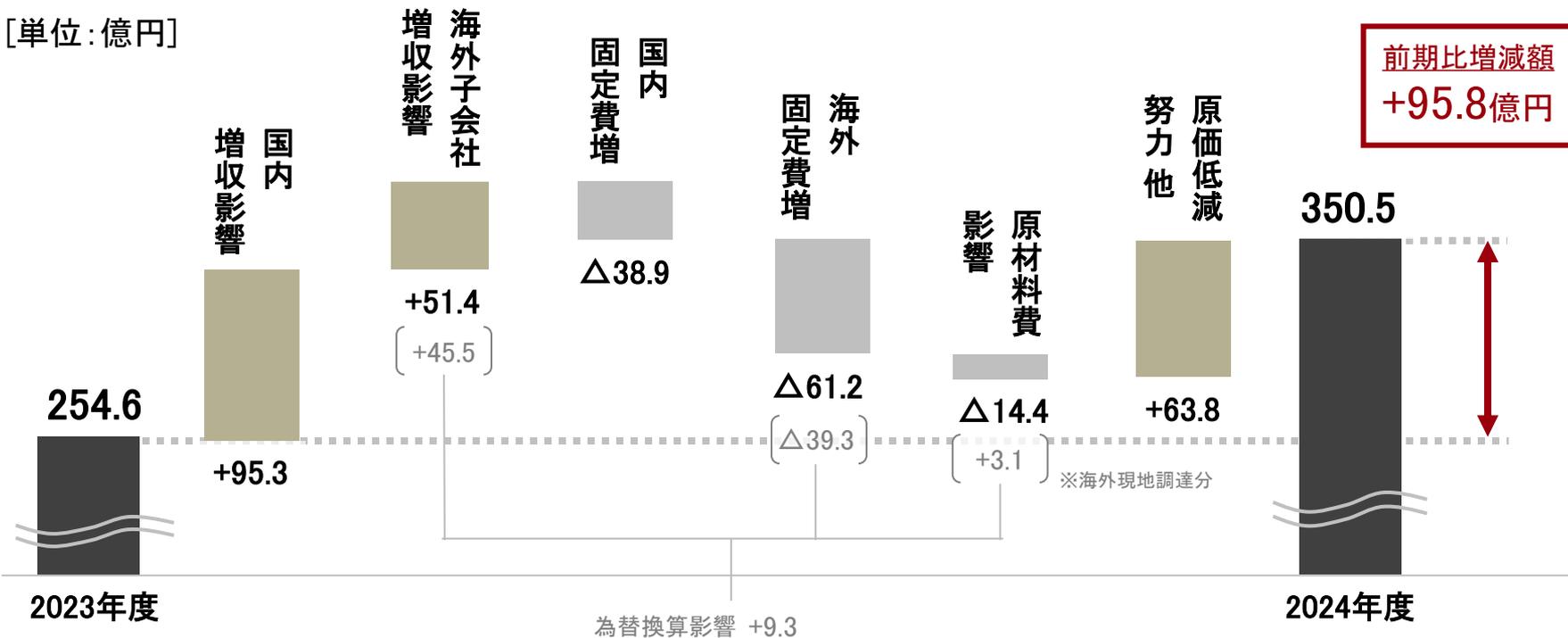
2024年度 第3四半期(累計) 連結セグメント別 損益実績内訳

[単位:億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	3323.1	+7.1%	350.5	+37.6%	10.5%	+2.3pt
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
日本	1512.2	+5.9%	188.7	+56.0%	12.5%	+4.0pt
アメリカ	477.3	+14.7%	10.4	-	2.2%	+6.8pt
オーストラリア	261.2	+15.2%	10.3	△11.2%	4.0%	△1.2pt
中国	448.4	△4.3%	61.5	△26.4%	13.7%	△4.1pt
韓国	247.4	+12.6%	6.1	-	2.5%	+3.0pt
インドネシア	130.4	+8.8%	29.7	+38.9%	22.8%	+4.9pt
その他	246.0	+10.7%	38.4	+24.5%	15.6%	+1.7pt
調整額	-	-	5.1	△21.8%	-	-

2024年度 第3四半期 連結営業利益分析

■ 高付加価値商品の販売増と原価低減効果により、増益

[単位: 億円]

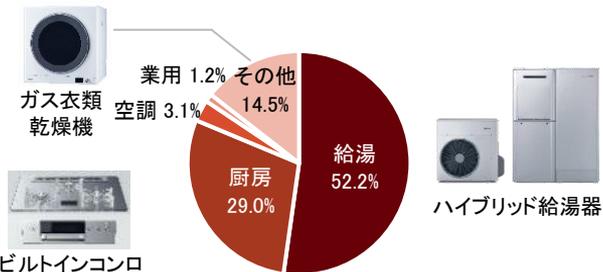


日本 セグメント 2024年度 第3四半期(累計) 実績

■ 対象会社

リンナイ単体、国内連結子会社(製造・販売)

■ 商品別売上構成比 (2024年度 3Q実績(累計))



■ セグメント実績

(単位: 億円)

	2023年度	2024年度	増減率
売上高	1427.9	1512.2	+5.9%
営業利益	121.0	188.7	+56.0%
営業利益率	8.5%	12.5%	+4.0pt

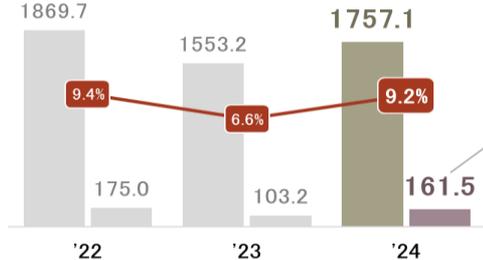
■ 主要会社 個別業績

リンナイ単体

- 物価上昇により消費は低調ながらも、需給も含めて正常な事業環境が継続
- 消費者ニーズを先取りした独自性の高い重点商品の販売が伸長
- 原材料費や物流費は引き続き高騰するものの、商品ミックスの改善で増益

【リンナイ単体 第3四半期 実績】

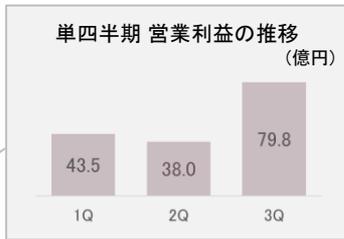
■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)

	2023年度	2024年度	増減率
売上高	1,553.2	1,757.1	+13.1%
営業利益	103.2	161.5	+56.4%
営業利益率	6.6%	9.2%	+2.6pt

単四半期 営業利益の推移 (億円)



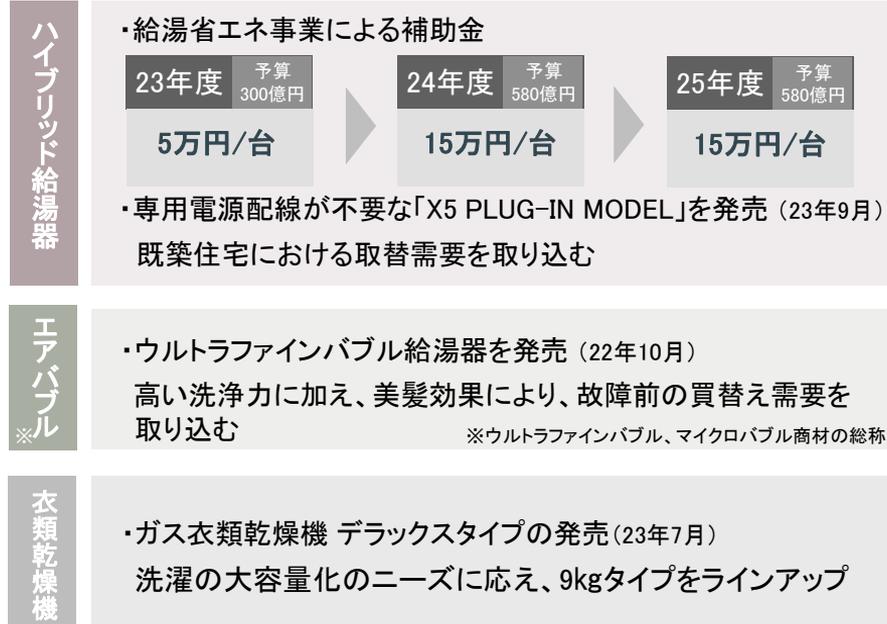
(販売台数: 国内)

	前期比増減率
給湯暖房機	△0.5%
ハイブリッド給湯器	+51.1%
ビルトインコンロ	△5.6%
ガス衣類乾燥機	+15.1%

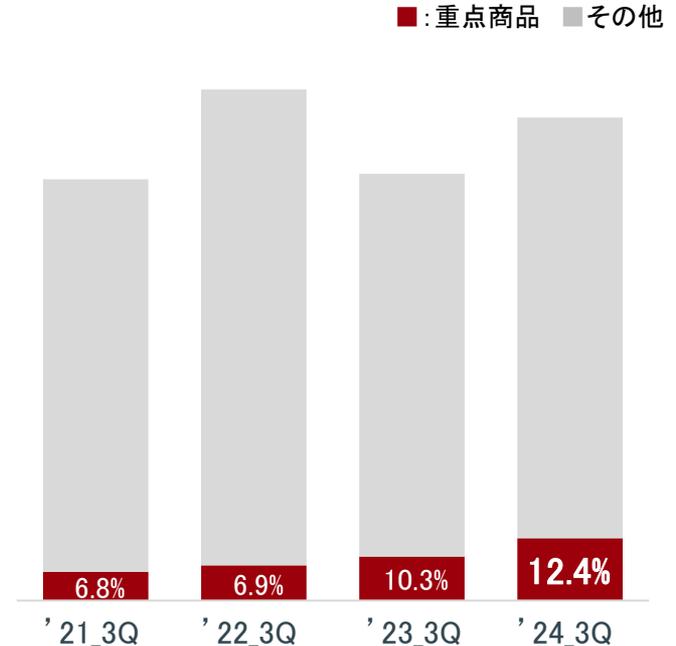
日本トピック 重点商品の伸長

■ 厳しい市場・消費環境のなか、独自性の高い重点商品の販売が好調を牽引

■ 重点商品の好調要因



■ 重点商品の国内売上構成比率の推移（3Q_累計）

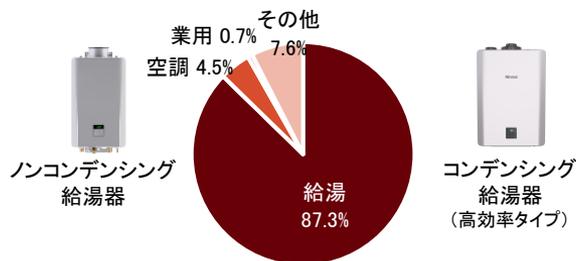


アメリカ セグメント 2024年度 第3四半期(累計) 実績

■ 対象会社

リンナイアメリカ

■ 商品別売上構成比 (2024年度 3Q実績(累計))



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	416.2	477.3	+14.7%
営業利益	△19.2	10.4	-
営業利益率	△4.6%	2.2%	+6.8pt

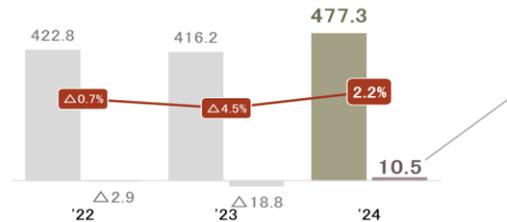
■ 主要会社 個別業績

リンナイアメリカ

- 新築市場に回復感があるものの、中古市場では下げ止まり基調
- 新型コンデンシング給湯器販売が好調ななか、新型コンデンシングボイラーを投入
- 生産数増加に伴う現地工場の稼働益も加わり、前年同期比 増益額は29億円

【リンナイアメリカ 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	416.2	477.3	+14.7%	+5.7%
営業利益	△18.8	10.5	-	-
営業利益率	△4.5%	2.2%	+6.7pt	

(販売台数)	前期比増減率
タンクレス 給湯器	+7.3%
内)コンデンシング (高効率タイプ)	+24.1%

アメリカトピック

■ 新製品によるラインアップ拡充で、北部を中心に家庭用コンデensingボイラーを積極展開

■ 新型家庭用コンデensingボイラーの特徴

好調な新型コンデensing給湯器の特徴を、ボイラーにも展開

消費者
メリット



高い省エネ性能に加え、給湯パターンを学習し、需要時間帯にスムーズに循環

施工者
メリット



オプション品でガス種変更が可能



Bluetooth®接続とアプリ使用で、
施工時間を削減

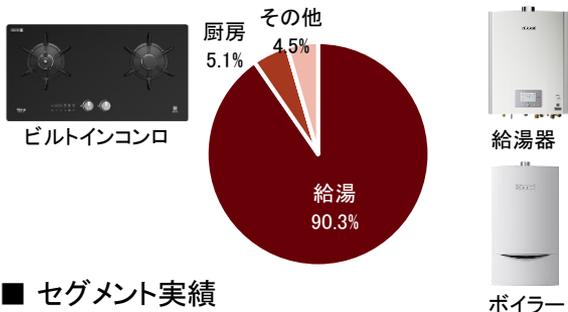


中国 セグメント 2024年度 第3四半期(累計) 実績

■ 対象会社

上海林内、広州林内、林内香港

■ 商品別売上構成比 (2024年度 3Q実績(累計))



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	468.6	448.4	△4.3%
営業利益	83.6	61.5	△26.4%
営業利益率	17.8%	13.7%	△4.1pt

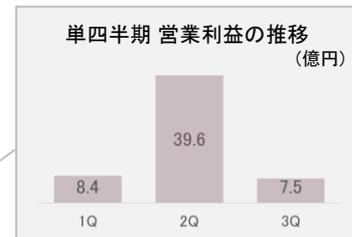
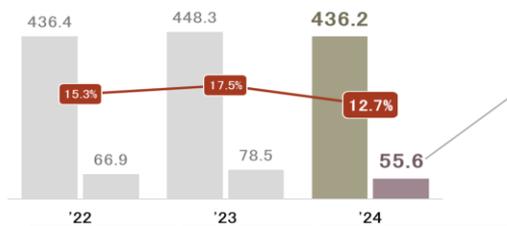
■ 主要会社 個別業績

上海林内

- 景気停滞により消費マインドが急激に冷え込み、流通在庫の増加感が鮮明に
- 競合他社の価格攻勢に対し、製品・期間限定で特価対応するも販売が減少
- 市場の減速に対し、ECチャネルやPF2.0による利益貢献で、単四半期黒字を確保

【上海林内 第3四半期 実績】

■:売上高 ■:営業利益 -●-:営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	448.3	436.2	△2.7%	△8.7%
営業利益	78.5	55.6	△29.2%	△33.5%
営業利益率	17.5%	12.7%	△4.8pt	

(販売台数)	前期比増減率
給湯器	△7.3%
ビルトインコンロ	△9.5%
レンジフード	△11.1%
ボイラー	+4.2%

中国トピック

■ 販売が減少するなか、補助金活用と原価を作り込んだPF2.0給湯器の構成比率向上を推進

■ 消費財の買い替え推進行動プラン(補助金)の概要 注) 一部抜粋

投資と消費の拡大を図るため、中央政府と地方政府が連携し、
買い替えを支援

対象：エネルギー・水利用 効率ラベルで2級以上と認定された以下の機器
冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン、パソコン
温水器、家庭用コンロ、レンジフード ※具体的な製品は各地方政府が決定

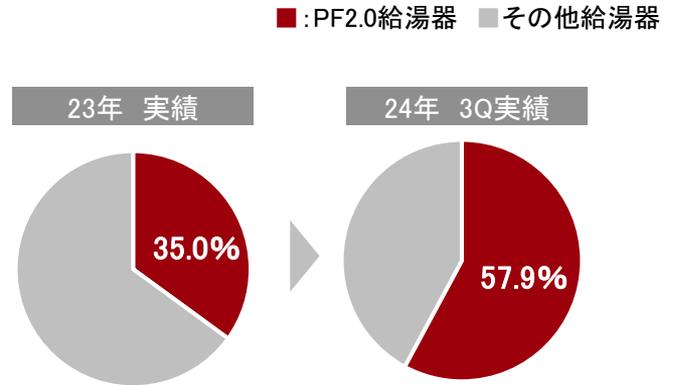
金額： 最大 2,000元(約4万円、1元＝約20円)
- 最終販売価格の15% (1級以上の製品の場合は+5%)

期間： 2024年9月頃～ ※各地方政府により、開始時期が異なる

なお、同様の補助金については、2025年も実施継続中

■ PF2.0給湯器の販売金額構成比率 注) PF：給湯器の主力モデル

2022年10月のPF2.0の市場投入から、さまざまな価格帯に展開

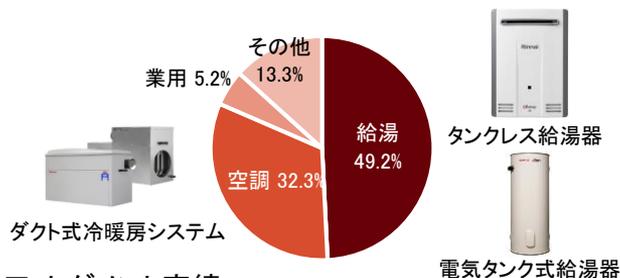


オーストラリア セグメント 2024年度 第3四半期(累計) 実績

■ 対象会社

リンナイオーストラリア

■ 商品別売上構成比 (2024年度 3Q実績(累計))



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	226.8	261.2	+15.2%
営業利益	11.6	10.3	△11.2%
営業利益率	5.2%	4.0%	△1.2pt

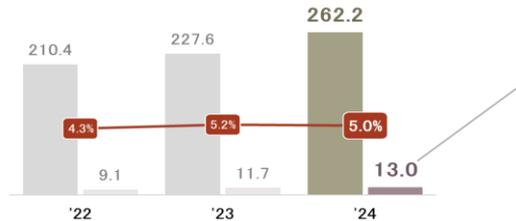
■ 主要会社 個別業績

リンナイオーストラリア

- 新築住宅に回復の兆しがあるものの、住宅市場は依然として低調
- 主力のタンクレス給湯器販売の回復に加え、企業買収効果も加わり、増収
- 利益率の高いガス機器への商品ミックス改善が続き、増益

【リンナイオーストラリア 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	227.6	262.2	+15.2%	+6.3%
営業利益	11.7	13.0	+10.8%	+2.2%
営業利益率	5.2%	5.0%	△0.2pt	

(販売台数)	前期比増減率
タンクレス給湯器	△0.2%
電気タンク式給湯器	△5.0%
ダクト式冷暖房システム	△10.4%

韓国 セグメント 2024年度 第3四半期(累計) 実績

■ 対象会社

リンナイ코리아、アール・ビー・코리아

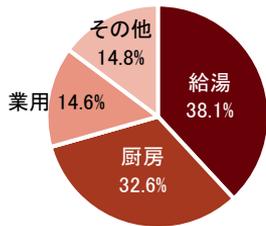
■ 商品別売上構成比 (2024年度 3Q実績(累計))



ガスコンロ



電気コンロ



親環境ボイラー

■ セグメント実績

(単位: 億円)

	2023年度	2024年度	増減率
売上高	219.8	247.4	+12.6%
営業利益	△1.2	6.1	-
営業利益率	△0.6%	2.5%	+3.0pt

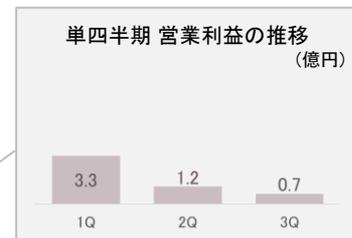
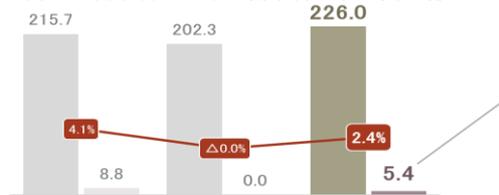
■ 主要会社 個別業績

リンナイ코리아

- 景況感の悪化が続き、ガス機器市場は弱含みで推移
- 厨房機器では好調を維持する一方、ボイラー販売では市場回復せず減少
- 主力であるボイラーの原価低減と厨房部門の増収効果により、利益確保

【リンナイ코리아 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)

	2023年度	2024年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	202.3	226.0	+11.7%	+6.4%
営業利益	△0.0	5.4	-	-
営業利益率	△0.0%	2.4%	+2.4pt	

(販売台数)

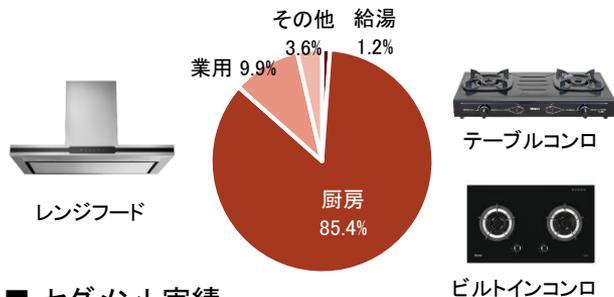
	前期比増減率
ボイラー	△12.4%
ガスコンロ	+51.1%
電気コンロ	+18.9%

インドネシア セグメント 2024年度 第3四半期(累計) 実績

■ 対象会社

リンナイインドネシア

■ 商品別売上構成比 (2024年度 3Q実績(累計))



■ セグメント実績

(単位: 億円)	2023年度	2024年度	増減率
売上高	119.9	130.4	+8.8%
営業利益	21.3	29.7	+38.9%
営業利益率	17.8%	22.8%	+4.9pt

■ 主要会社 個別業績

リンナイインドネシア

- 物価上昇により依然として、消費マインドは低調に推移
- 主力のテーブルコンロ販売においては、圧倒的に高いシェアを堅持
- 堅調な販売に加え、価格改定効果によって、さらなる高利益率に

【リンナイインドネシア 第3四半期 実績】

■: 売上高 ■: 営業利益 -●-: 営業利益率 (単位: 億円)



(単位: 億円)	2023年度	2024年度	前期比増減率		(販売台数)	前期比増減率
			円貨	現地通貨		
売上高	123.8	136.3	+10.1%	+6.3%	テーブルコンロ	△2.6%
営業利益	22.1	30.5	+38.1%	+33.4%	ビルトインコンロ	+19.9%
営業利益率	17.9%	22.4%	+4.5pt		レンジフード	+12.1%

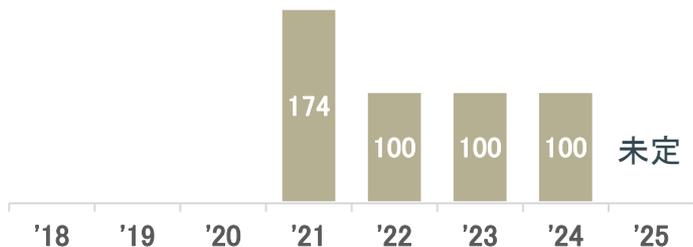
株主還元の推移

■ 本中期経営計画期間より、株主還元は大幅に増加 中期経営計画累計(4年)還元総額:800億円超

※24年予定期末配当で試算

■ 自己株式取得の推移

(単位:億円)



前中期経営計画

New ERA 2025

累計取得株式数 (①) 14,005,200株

発行済株式数 (20年度末) (②) 154,193,331株
(自己株式を除く) (分割考慮後)

(①/②) 9.08%

■ 一株当たり配当金・配当性向の推移

(単位:円)



前中期経営計画

New ERA 2025

2023年5月 還元方針を追加

- ・ 配当性向の段階的な引上げを決定
- ・ 2025年度:40%水準

